

# 山雲水月

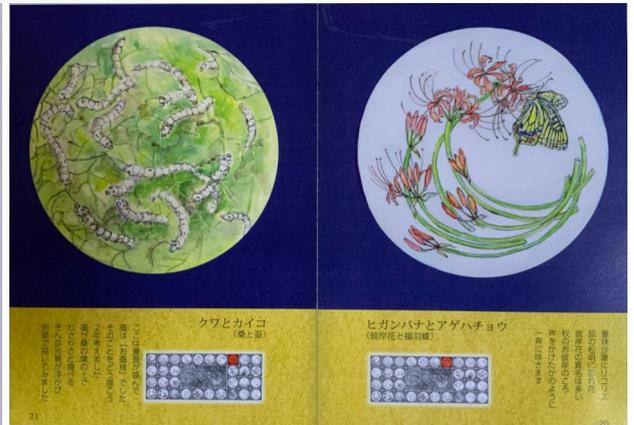
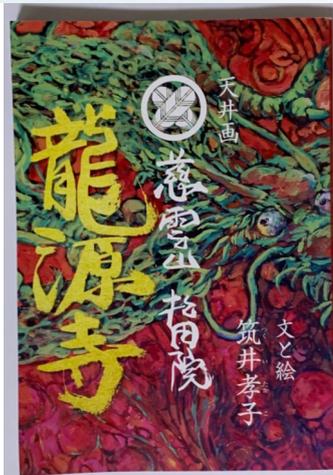
発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 筑井孝子先生、龍源寺天井絵冊子刊行

令和2年

### 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/8 大般若大施食会法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- ※春彼岸会 筆供養法要
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区孟蘭盆会
- ※7月下旬(一泊二日) 第39回子供禪の集い(中止)
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 孟蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- ※10/25 檀信徒研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週金曜日 華道教室
- ※毎月1回土曜日 ヨガ教室
- ※は、本寺仁叟寺様にて修行



龍源寺天井絵冊子 表紙と内部

前橋市の画家、筑井孝子先生に龍源寺本堂新築に合わせ、内陣の天井に天井絵を奉納賜りました。中心に龍を配し、当山の四季折々の草花を描いていただきました。またお蚕様と縁が深い当寺に、多胡早生の鍬や繭なども題材として描いて貰い、「花鳥風月」をテーマにした素晴らしい天井絵が、当山新本堂に彩を添えてくださいました。

作者の筑井孝子先生は、本年4月29日の大施食会、総会等の席で、龍源寺天井絵についての解説とご講演をいただく予定でした。しかしながら、新型コロナウイルスによる感染症拡大防止及び社会情勢を鑑みて、一年延期とさせていただきます。その際に、天井絵冊子を檀信徒各位に配布する予定であり、準備を進めておりましたが、講演会中止といたしましたので、完成した冊子は、郵送も含め御札等と共に皆様にお渡しいたしました。冊子はオールカラーで天井絵一点一点に解説があり、更には作成過程の様子や当山の歴史等も記録。1部1,200円で頒布しております。ご希望の方は、当山住職迄お問い合わせください。

また桜花満開の4月2~4日に掛け、昨年引き続き当山本堂にて天井絵展を開催いたしました。本年はコロナ禍の状況もあり、大きく広報せず、行いました。



天井画展ポスター

## 龍源寺境内地及び墓所被災について



**産廃が流入し、崩壊した蚕影山跡地より山頂付近を望む風景（6月撮影）  
山肌が露わになり、倒木等がそのままの状態での放置され危険な状況です。**

本年1月初旬、高崎市役所環境部により、産業廃棄物の全量撤去指導が多野造園土木株式会社に出されました。3月22日に点検を行ったところ、蚕影山様付近の撤去が不十分であり、再度指導が出されました。結果、当初に告知されていた期日からは一ヶ月ほど延びましたが、4月下旬を以て工事は一旦終了となりました。

その後、群馬県より被災地域の再発防止の為に工事が入ることが正式に決定いたしました。倒木等が、未だそのままの状態でも多数残されている為、当山及び地域では二次災害を防ぐ為にも早期の対策をお願い申し上げます。ともあれ、再発防止につきましては、群馬県及び高崎市により工事が入ることが決まりましたこと、有難く感謝しております。

ほか新型コロナウイルスによる感染症拡大防止の為、4月24日予定の第二回公判が延期となりました。以降、再開の見通しは未定となっております。



「月刊住職」5月号より

三密を避けるため、集会なども控えており、被災者説明会も3月14日を最後に開催されていません。一刻も早い墓所を含めた原状回復を願っているところですが、残念ながらそのような事情で進行が滞っております。

当山では7月11日に、総代理人世話人会議と共に、担当代理人である高橋勉弁護士を招き、被災者説明会を行う予定です。併せまして、説明会の席では必ず冒頭に修行しておりますが、被災され本堂にご遺骨が安置されております諸精霊位の供養法要をおつとめいたします。早期の復旧を願っております。檀信徒各位に於かれましては、ご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

本年夏に予定しておりました恒例の「第39回子供禅の集い」は、新型コロナウイルスによる感染症拡大防止はもとより、小学校休校措置に伴う夏休み期間が不明な為、日程を組む事が出来ず、残念ながら中止といたします。

## 仁叟寺通信 ～樹木自然葬墓「大樹苑」開苑～



五輪桜満開・整備された「大樹苑」風景

今春3月中旬、新たなお墓の形に対応した永代供養型樹木葬自然葬墓「大樹苑」が、高崎市保存樹「五輪桜」及び高崎市指定天然記念物「モクの木」周辺が整備され、開苑いたしました。ちょうど新型コロナウイルス禍という状況ではありましたが、現在まで順調に分譲がなされております。

昨今、予想を遥かに超える少子高齢化、核家族化、後継者の不在等による時代の潮流の中、墓地継承や葬送の形も大きく変化しております。供養のかたちも多様化する中、仁叟寺ではその思いに寄り添い、様々な要望に対応する寺として、受け入れを進めています。

供養や葬送等でお困りの方がおられましたらご紹介賜り、また同苑に興味関心のある方は、遠慮なく現地でご覧いただければ幸いです。その際には、現地常駐している担当者に龍源寺の紹介と仰っていただければ、円滑に進むことが出来ます。

また小斎場兼研修会館「鳳寿堂」では、家族葬親族葬など小規模葬送に対応しております。寺院で葬儀が執行出来ますので、お問い合わせ下さい。



「鳳寿堂」内部



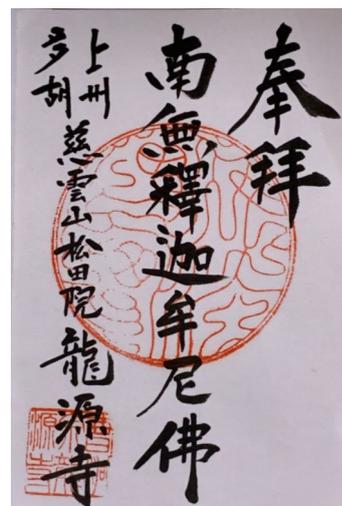
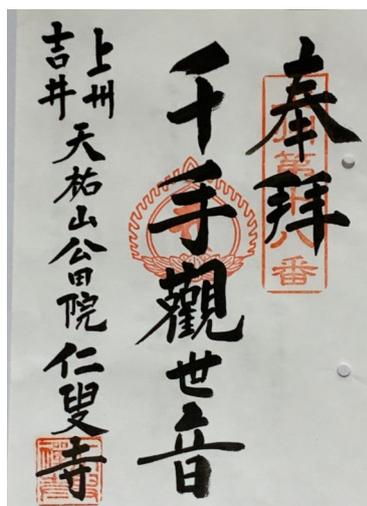
「大樹苑」東屋より本堂を望む

## 龍源寺御朱印

昨今、御朱印集めが静かなブームとなっております。当山にも御朱印を求め、お詣りに来る方がおられます。住職が副住職をつとめております仁叟寺に在することが多く、見られた時にすぐにお渡し出来ないこともあります。御朱印をお求めの際は、当山にご一報を入れていただければと助かります。

龍源寺の御朱印は、檀信徒各位には昨年4月の本堂落慶の際の記念品として御朱印帖と共に頒布いたしました。神社仏閣にお詣りする際に、是非ご活用ください。

なお御朱印料は、各寺社によって差異はありますが300～500円程度が一般的です。龍源寺では300円を志納していただきます。ご希望の方は、当山までお問合せください。



龍源寺及び仁叟寺の御朱印

## 護持会費、墓地管理費について

当山では護持会費として仏様のおられる檀信徒各家に、年一度5,000円をお納めいただいております。護持会費は、宗費や護持会会議費、同慶弔費、等に充てさせていただき、毎年予算決算の報告をしております。

墓地管理費は、面積や仏様の有無に関わらず新たに造営した新墓地一区画につき、年3,000円をお納めいただいております。しかしながら、先代が昭和50年（1975）に造営した墓地であり、その当時は大変な労苦があったと伺っておりますが、既に40年以上の月日が経過しております。

そのため、総代会の了解を得、総代人世話人会議に諮り、今年度より墓地管理費の廃止を決定いたしました。併せて、仏様の有無に関わらず、護持会費を檀信徒各家一律5,000円とさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

### ご寄進のご紹介 (順不同、敬称略)



右) 本堂内大磬子台座  
左) 本堂内大木魚台座



番号	地域	ご芳名	為	ご寄進物
1	松田	杉田 彰	石塔開眼供養	本堂内大磬子台座
2	松田	渡辺 ひで子	石塔開眼供養	本堂内大木魚台座
3	多胡	篠崎 美智恵	石塔開眼供養	
4	藤岡	鈴木 悟	石塔開眼供養	

## 行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

新型コロナウイルスによる様々な影響は我が国のみならず世界へ広まっております。当山も大きな影響がありましたが、明けない夜はないという言葉のとおり、今出来ることをしっかりと考え、前へ前へ歩ませていただいております。

私事ですが、今年4月より子供の通う地元多胡小学校のPTA会長を拝命いたしました。現在こちらでも新型コロナウイルス禍により、大変な状況であります。さて、多胡小学校は江戸時代の仁叟寺寺子屋より興り明治時代に学校令が出され創られた神保小学校が前身であり、初代校長は仁叟寺二十六世機參學禪大和尚です。数年後は開校150年を迎えます。母校であり、歴史と伝統ある学校の為に、精進をさせていただきます。合掌 寺子屋・神保小学校で使用されたと伝わる机 (仁叟寺蔵)

